

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
 Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1020号
 2007年1月21日発行
 日本聖公会東京教区
 港区芝公園3-6-18
 編集人 伊藤裕元

◇1月の代禱・信施奉献先
 ▽主教座聖堂の働きのため▽
 エルサレム教区の働きのため
 ▽視覚聴覚障害者伝道のため
 ▽野宿生活者支援のため
 《代禱・奉献先から》

野宿生活者支援

渋谷給食活動

聖パウロ教会渋谷給食活動は、二十年後を考える会により04年12月に始められた。以来毎月第4日曜日(十元日)の早朝4時に、渋谷区役所駐車場に寝泊りする約60人の野宿者に温かい食事主にカレーライス、お茶、ゆで卵などを届けている。前日の調理作業を含め、教員、語学教室受講生、香蘭女学校の生徒、他教会の信徒など延べ15人程が参加している。月1回の活動は、支援と呼ぶにはあまりにも小さく、活

動回数を増やせないでいる悩みと、この活動が必要なくなる日への望みという相反する思いを持ちつつ、それでも待つている人がいる限り続けていきたい。

(聖パウロ教会 榎原民佳)

◇教会グループ07年度幹事教会

城南||聖オルバン教会 外濠

◇銀座朝拝会

1月23日(火)7時半、喫茶室ルノアール・ニュー銀座会議室。感話||井口諭司祭(神田キリスト教会)。

||目白聖公会 下町||千住基督教会 山手||聖マーガレット教会 環状||池袋聖公会 多摩||小金井聖公会

今週・来週の予定

1月21日~2月3日

- 21(日) 顕現後第3主日
 主教巡回
 清瀬聖母教会
 外濠G教会協 (目白)
 下町G教会協 (聖ヨハネ)
 環状G教会協 (聖ペテロ)
 多摩G教会協 (小金井)
- 23(火) 銀座朝拝会
 多摩G牧師協 (小金井)
- 25(木) 信仰と生活委員会
- 26(金) 常置委員会
- 28(日) 顕現後第4主日
 被献日前の光の礼拝 (主教座)
 山手G教会協 (聖マーガレット)
 城南G教会協 (聖マリア)
- 2月
- 1(木) 下町G牧師協 (聖ルカ)
- 2(金) 被献日礼拝 (目白・主教座)

(この用紙は再生紙を使っています)

2007年を4人の執事の方々の司祭按手式で始められますことを、心からうれしく思います。
 4人の方々は、それぞれ「聖職」へと召されていることを心の奥に刻みながら、それが現実の形をとる――具体的には
 司祭按手を受 《新しい年を迎えて》
 けることを、
 まさに神さま
 が許される日
 まで、何年も
 祈り、待ち続けられました。

2007年・司祭按手式

主教 植田 仁太郎

それは、ひとりひとりを聖職候補生あるいは執事として支え育んでくださった諸教会の方々、先輩・同僚聖職の方々の祈りでもありました。教会の決まりとして、神学校へ行くことや試験を受けたりすることが、司祭になる条件となっています。そ

れぞれの方が、そのプロセスの中で、長所や短所を指摘されたり新たに自覚したりしてきました。しかしこれらはみな、人間のわざとしてのテストと訓練でした。神さまは、それらすべてを越えて、ひとりひとりの賜もの(強さも弱さも)すべてが神さまに向けられるときに、ひとりひとりを司祭として、人々の間に立たせて下さるのだと思います。

◇新司祭に4師叙任

昨1月20日に主教座聖堂で行なわれた聖職按手式で、上田憲明・石坂みゆ子・李民洙・神崎和子4人の司祭が誕生した。「次号で詳報」

常置委員会報告(12月19日)

主な報告・協議事項から。

*聖職会を開催し神学院外向司祭の解任経緯を説明、3執事の司祭説教試験を実施、真光教会の土地関連など、主教報告。

*07年主教巡回予定、管区共通聖職試験依頼書提出、一般会計予算実績・各委員会予算実績等11月収支、任期満了に伴う正平協議長選出、新しい聖地旅行を考えるエ教区訪問な

ど、主教チャプレン・各主事報告を了承。

*顧問税理士高橋誠哉氏の体調事由による契約解消と、代行大貫昌久氏へ委嘱・就任を了承。

*「家族を持つ聖職候補生に対する支援制度の運用」ガイドライン聖職養成委員会答申を、主教裁量の参考基準として承認。

*次期教区会(3月21日)の書記2名を推薦、了承。

*聖パウロ教会申請の真光教会用地の件を次期教区会で諮ることを協議。

*その他

◇被献日前の光の礼拝

(キャンドルマス)

1月28日(日)17時・主教座聖

堂。司式大畑喜道司祭・説教高橋宏幸司祭。

◇被献日(2月2日・金)に2礼拝

*目白聖公会婦人会主催10時半聖餐式・目白聖公会・説教河野裕道司祭。軽食後に小貫ツマ司祭(北海道教区・退職)の話「召命を受けて」。電話03(3951)5010。

*一粒の麦の会主催13時聖餐式・聖アンデレ教会・説教李民洙司祭。信施IIバーンサバイの働きへ、感謝箱献金II日本聖公会婦人会と浅草聖ヨハネ教会給食活動へ、リーストコインIIACWCに。引き続きバーンサバイ報告・06年度活動報告などの全体会議。電話090(6538)0852。

【学びと働きから】28

新しい聖地旅行

今まで聖地旅行に行かれた方は、あなたの教会にも何人もいらつしやるでしょう。しかしその地にある聖公会の教会には、ほとんど関心を示さなかったのは何故なのでしょう。過去に私たちは問われました。過去の遺跡を訪問し、自分の信仰が豊かにされた、それは良いことに違いありません。しかし、その地で命がけの信仰的な戦いをしている私たちの声をなぜ聞いて下さらなかったのですか、そう問われたのです。

イスラエル人旅行社の流れに沿って、イスラエル人の歴史理解・情報だけで聖地を理解すれ

ば、「聖地の平和は、イスラエル軍のチェックポイントと高い壁によって守られている」などと教えられてしまいます。

そうではなく、かの地の聖公会の仲間と共に、彼らの声を聞き、礼拝を共にしながら平和を祈り、聖地を巡る、そういった行き方を探求したい、それが今回のエルサレム教区訪問の目的です。「新しい聖地旅行を考える訪問団」：参加者は、北海道、大阪、神戸、九州各教区から7人、東京教区から5人、管区とNCCから1人ずつ、計14人が参加します。2月7〜17日の予定で、エルサレム教区との共同企画として実施されます。

エ教区協働委員会

委員長 司祭 神崎雄二

《今、この教会では...》

聖愛教会

昨秋カトリック教会の森一弘司教を迎えて、講演会「信仰生活の息吹」を開いた。いま、私たちの教会は、働き人の不足から主日の昼食が無くなったり、教会学校の子どもが少ないなど、決して盛んな状況とはいえない。具体的な打開策は無いのかとしばしば話し合っている。しかし、今こそ一人ひとりの信仰を見つめ、深めていくことが大切なのではないだろうか。「汝らの光を人の前に輝かせ。これ人の汝らが良き行いを見て、天にいます汝らの父をあがめんためなり」のみ言葉のようになるよう、信仰の糧をいただいた講演であった。(五十嵐爽子)